

# 田中研新聞

第26号

2015年  
10月1日発行

2015年10月1日号

甲南大学知能情報学部田中研究室 毎月発行  
http://carnation.is.konan-u.ac.jp  
編集長：岡田 航大 (B4)  
編集委員：吉岡 一樹 (M2)

# ラジオ体操採点システム使用拡大!

当研究室大学院生だった野々口誠人が開発したラジオ体操採点システムですが、その後、私が改良を継続して、使用実績も増えてきました。7月に、ひがしなだ健康クラブに使用していただいた後、9月12日、13日に、堺市の大型商業施設「アリオ鳳」で実施しました。体操をした人は、12日が211名、13日が254名と、大変盛り上がりしました。

本システムの動画には、かんぼ生命から紹介を受けた、ラジオ体操指導員である、澤野美也子さんの体操を用いておりますが、7月に実施した、ひがしなだ健康クラブのイベントの時に、澤野さん以外にも一人指導員の有資格者で堺市職員の、金原美穂さんが来られました。その方のご紹介で、堺にも縁ができて、今回のイベントにつながっているのです。

アリオ鳳に、金原さんもおいでになりましたので、模範演技と思っております。いただいたのですが、点数が実は69点と、大変悪く、申し訳ない思いをしました。システムの出す点数としては、指導員のような方がされれば満点に近い点が出、また、体操を覚えてすらいけないような方には、低い点が出るのが当然望ましいわけですが、一部の上手な方に低い点が出るところがあり、まだ改善の余地があります。

今回、たくさんの方に体操をしていただいて、得点の仕方にか特徴があるかどうか、じっくり見ておりましたが、ついにその特徴

の1つを突き止めました。それは、体格の良い人、グラマーな人に対して低い点が出るということでした。金原さんもなかなかグラマーな方で、非常に迫力のある体操をされました。そこで、採点の画面を見ていてふと気がついたことは、姿勢の点が低いということでした。姿勢の評価には、頭と胴体を結ぶベクトルの左

右と前後の傾きを見ていますが、胴体の部分の特徴点が体の表面に近いところにあるのではないかと、そうであれば、体格の良い方は常に「振り返っている」ように判定されるのではないかと。

そこで、今回、左右の傾きと前後の傾きの評価を分離してみました。体操を始めた瞬間の体の前後の傾きを常にバイアスとして引くことにしたのです。自分で試してみたところ、成功のようです。さて、これで体格の良い人の体操に良い評価が出るかどうか。試してみたいと思います。まだまだ試行錯誤は続きます。そうした中で、イベント出演の役割は小さくないようです。(田中雅博)



## 新ゼミ生紹介

今年も後期が始まり、3回生のゼミ配属が決まり、初回の3回ゼミも始まり、これから本格始動していくこととなる。新ゼミ生は現4回生とはまた違った意味で個性的で魅力的なメンバーが加入した。今回、5人の3回生に自己紹介の文章を書いて貰った。掲載している写真は島津君から提供して頂いた。(岡田航大)

## 伊東一樹

初めまして、3回生の伊東一樹です。趣味は体を動かすことです。特にテニスが好きで大学ではテニスサークルに所属しています。小、中学校の時は野球をしていましたが高校からテニス部に入りそこからテニスを始めました。一度ウィンブルドンなどの4大会を見に行ってみたくて、あと野球もやっていたのでプロ野球とかたまに見たりします。ついでに僕は阪神ファンです。

これから田中研究室で様々なことを学び自分の研究に取り組んでいきたいと思っています。そして大学生活の1つの思い出として楽しんでいきたいです。これからよろしくお願ひします。

## 金澤陽介

3回生の金澤陽介です。大学の部活動として、ユースホステリングクラブに所属しています。名前だけでは何をやってるのかさっぱりわからないこのクラブ

ですが、キャンプや登山など、主に野外活動を中心に行っています。世界中にユースホステルという青少年向けの宿泊施設があり、宿泊費が安いのが特徴なので、あまりお金をかけずに旅行したいという人はぜひユースホステルを利用してみて下さい。

## 島津直道

初めまして、田中研究室に配属になりました3回生の島津直道です。大学入学以前に察してほしい1年間はあったため年齢的には4回生です(笑)。特に4回生の方は普通に友達みたいに接してくれるとうれしいです。よく白黒のメガネをかけています。趣味はバイク・音楽を聴く・作曲・音楽ゲームです。バイクはKawasakiのninjab250に乗っています。来年には大型免許も取っています。

## 橋本涉

はじめまして、3回生の橋本涉です。この研究室へは、田中先生の授業で、研究内容の紹介を動画付きで見ても興味を持ちました。特にKOROに関しての興味が大きいです。

部活は囲碁将棋部に所属しています。将棋は中学入学と同時に始め、二段の免状を所望しました。部内では将棋主将という役職に就き、大会や練習のとりまとめを行っています。趣味はゲーム、お酒、あとはスポーツもたまにやります。普段はソシヤゲばかりしています。パズドラ(パズル&ドラゴンズ)とクラクラ(クラッシュオブクラウン)はかなり自信があり、「ガチ勢やん」と言われなかつたためありがとうございます。

## 藤長新

3回生の藤長新です。中高とテニスを通じて、大学ではサークル等には所属していませんが、今もプレイするのも観戦するのも好きです。トッププレイヤーのナダル選手の粘り強いプレイには尊敬します。やりたい研究などまだ殆ど決まっていませんが勉強や就職活動を頑張っていると思っています。ご迷惑をかけてしまうこともあるかもしれませんがこれからよろしくお願ひします。



# 夏休みの過ごし方

## 吉岡一樹

9月9日〜12日に石垣島、竹富島、小浜島へ旅行に行ってきました。

天気予報では9日の朝に台風が名古屋に直撃すると予報されおり、飛行機が運航するの心配でしたが、無事に運行されました。新石垣島空港に到着後目に飛び込んだのは、広い大地に広がるサトウキビ畑と奥の方に見える綺麗な海岸でした。その時「石垣島に来た」と実感し、テンションが上がりました。1日目は石垣島で最大の鍾乳洞と川平湾を散策しました。その後、宿泊予約をしていた川平湾近くにあるドミトリに到着しました。そのドミトリの宿泊者の半数は外国人でした。私自身英語は喋れないのですが、ものは試しにと思い、一人旅で訪れていたフランス人に「hello」と声をかけ



てみました。すると向こうも「hello」と返してくれました。その後、サッカーの話で盛り上がり、2日目と3日目の夜ご飯を一緒に食べる程意気投合しました。2日目は竹富島に行きました。竹富島ですが、昔ながらの沖縄の民家や見渡す限りエメラルドグリーンのビーチなどがあり、そこを自転車でサイクリング

してきました。また、所々で観光客に乗せた水牛車が通り沖繩らしさがものすごく新鮮でした。宿舎のドミトリに戻ると、ドミトリの前で髪の毛を切っている美容師と髪を切られているプロのカメラマン（後に本人に聞きました）がいま

き、夕日が沈むところを綺麗にカメラで撮影することができました。石垣島の景色等も良かったのですが、この旅行を通じて人の出会いがものすごく大切でかつ、面白いというのを感じました。美容師やプロのカメラマンと友達になり、現地で友達になった観光客と夕日を見に行ったり、将来日本に住みたいと考えている外国人に日本語を教える機会があり、他では体験できないようなことが体験でき、良い思い出が作れたなと思えました。また機会があれば石垣島へ行きたいです。（吉岡一樹）

夏休みの間、色々な都道府県に行くことができ、今年行けたのは7月に青森、仙台、三重、8月には京都、高知と行ったので、合計5つの県へ行くことができました。移動距離だけ考えても濃い夏休みとなりました。青森は、バイト先の研修で日本一と評判高い弘前大生協の店舗見学などを行い、学生スタッフとしては唯一参加させて頂くことになった。負けに不思議の負

が、復興に向けて動き出しているのを見て安心したのも確かだ。電気屋が大好きなので、仙台駅前にあるヨドバシカメラには入る時間があったので、残念だ。また個人的に行ってみたと思う。仙台のヨドバシは梅田のヨドバシよりも古いということに驚いた。三重県は毎年恒例の家族旅行となっているが、観光地に行くことは少なく、行ったとしても伊勢神宮周辺だけで、ゼミ旅行で行ったような施設は何気に初めて行く場所が多かった。宿泊先は父の会社の保養施設の為、ご飯は自分で作ることになる。とはいっても母親

が、往復1000円前後だったため、難波に行くのとあまり変わらないのも驚いた。最後に高知へ行った。先ほどとは違う小学校からの付き合いの友人が高知大学に通っているため、その下宿先にお邪魔した。通っている本人が言っていたように思った以上に観光する場所が少なく、結局友人宅で遊んでいる時間が長かった。実は青森仙台、三重の3つは間に余裕がなく、三重から伊丹空港に向かい青森へ飛び、翌日仙台から伊丹空港に戻ってきたため、2日間の移動距離がとんでもないことになっていた。自宅についてからどっと疲れの覚えている。こういったように非常に濃い夏休みを過ごした。学生の間に日本全県をまわるといいう密かな野望がある。残りのほとんどは九州と関東のためやろうと思えば来年の春にでも制覇することができると、積極的に狙っていきたいと思う。（岡田航大）

記事にもしましたが、3回生のゼミが本格的に始動して今年7人の生徒が田中研究室に所属することになりました。当たり前といえませんが、回生によって雰囲気は違います。それを強く感じたのは席決めで、僕たちの回生は面倒だからという理由で、最初に座った席を大体みんな希望して結局そのまま半年過ぎました。自分たちのゼミ配属から1年たつと、色々感慨深いです。同時に少し焦ってきました。

## 編集後記

9月が終わり、学校がまた再開しました。高校生のときは夏休みという8月までで終わりで、9月という課題テストというものがあつたりしました。基本的に宿題を残すのが嫌で課題が出た3日以内には終わらせていたので、大体7月には全部の課題が終わっていたのですが、それが仇となって課題テストは毎年出来がよくありませんでした。だったら直前にも勉強すればいい話なのですが、課題を残すのが嫌で早めに終わらせていたので、結局高校最後のテストまでそういった勉強はしませんでした。そんなこともあり、あまり9月にいい思い出はありません。残暑も厳しい日もありますが、

## 気になる便利グッズ

### 第5回HDMI切り替え機

自室にあるモニターのHDMIの端子は1つしかないため、ゲームをしようと思ったり、BDを見ようと思ったり、HDMI端子を増設する方向で考えた。

しかし、増設や分割のケーブルが思った以上に高く、そもそもあまり種類がない。ものによっては1万円弱するものだったりしたので、諦めようかと思つたが、大阪日本橋で3ポートのHDMI切替機が800円程、5ポートのHDMI切替機が2000円前後で販売していたので、あまり期待せずに3ポートの方を購入してみた。期待値が低

かったものもあるかもしれないが、これが思った以上に有用で普通に使う分には違和感がない。また、HDMIで電源供給を行っているようで、ACアダプタがないためコンセントを使用することもないのも地味に嬉しいポイントだ。今この機械とつながっているかというのもLED(?)でわかるようになっていて、ボタンを無駄に何度も押す必要もない。ただ、HDMIの映像伝送速度が切替機に依存してしまう。そのため、私はあまり詳しくはないが、FPSゲームのようなゲームをやっている、モニターの映像伝送速度にも拘りがある人にはお勧めできない。私はそもそも良いモニタを使っているわけでは

なく、モニタにまで速度を求める作業は行わないため、これくらいの製品で十分だ。800円前後と考えると、念のためもう一つくらい購入しておこうかと考えているくらいに気に入った。色々調べていると、エレクトロニクスやデータなどの所謂サブプライムメーカーも同等の商品を出していて、そちらは3000円程度で購入できる。メーカーが出している切替機は、機械の電源が入ると自動で切り替えてくれる機能がついていた、アフターサービスの面で充実しているのが今使用している切替機が、悪くなつたら、メーカー品の購入自体も検討しようと考えている。（岡田航大）



京都は小学校からの付き合いの友人が河原町に行きたいと言いつたために、あまり目的があるわけではなかった。普段は三ノ宮や梅田や難波、大阪日本橋といった場所までしか行かないので、これはこれで楽しかった。阪急電車の切符で阪急線内だとかまでいって

10月4日(日) ラジオ体操システム、こうべ福祉・健康フェアに出展▼11月7日(土) 田中教授、神戸ハイパーランドにて「いきいきシアライフフェア」においてラジオ体操システムのおステージ出演▼12月3日、4日、ラジオ体操システムを池田泉州銀行ビジネスエンカレッジフェアに出展



9月の新聞は正直かなり苦勞しましたが（読んでくださった方には伝わらなくてもいいですが）今月は3回生の歓迎会やオープンキャンパスといった記事にしやすいイベントで盛りりの一つは山場なので、次の新聞は普段よりも多くの人の記事を掲載したいと思えます。（岡田航大）